

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年5月27日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年5月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【共用プール冷却浄化系(A)(B)系統流量計の指示の差異について】</p> <p>当直員が、共用プール冷却浄化系ろ過脱塩器(B)の逆洗浄前のパラメータ確認において、共用プール冷却浄化系(A)(B)系統流量計の現場制御盤流量指示計とR-TIME(※)流量指示に差異があることを確認。確認の結果、R-TIME流量指示はデジタル制御装置であり指示のズレが発生しないことから、現場制御盤流量指示計のアナログ指示計特有のズレと推定。</p> <p>交換終了までの間は、R-TIME流量指示で系統流量を確認可能なため、監視に影響なし。</p> <p>今後、当該流量指示計をズレの発生しないデジタルレコーダーに交換予定。</p> <p>※ R-TIME:遠隔集中監視システム</p>	G III	5月23日
2	<p>【当社G7システムと放射線影響協会放射線従事者中央登録センターのデータの相違について】</p> <p>当社G7システム(※1)の放射線業務従事者データと放射線影響協会放射線従事者中央登録センター(以下中央登録センターという※2)に登録されているデータについて、福島第一原子力発電所における放射線管理対象区域内にて「作業実績無し」のところ、「作業実績有り」と登録されていたことを確認。</p> <p>原因を調査したところ、2020年3月に、当社G7システムにより抽出したデータを中央登録センターの規定に定めるデータ形式に変換せずに送付したことが判明。</p> <p>今後、正しいデータで再登録を行う。</p> <p>なお、現在は中央登録センターのデータ形式にあわせ、当社G7システムを改修済み。</p> <p>※1 G7システム:福島第一原子力発電所管理対象区域(管理対象区域と同等に管理するエリア含む)における作業において、作業に係わる情報の集計、検索が可能なシステム。当社は放射線業務従事者の放射線量を中央登録センターへ送付している。</p> <p>※2 中央登録センター:放射線業務従事者の放射線量を正確に全国規模で一元的に把握、管理する事を目的とする「原子力放射線業務従事者被ばく線量登録管理制度」を中心的に推進する機関。</p>	G III	5月23日
3	<p>【4号機原子炉建屋カバー天井クレーン補助ホイストのリミットスイッチレバーの変形について】</p> <p>協力企業作業員が4号機原子炉建屋カバー天井クレーンの点検において、補助ホイストの横行用リミットスイッチを確認したところ、リミットスイッチの可変ローラレバーの変形を確認。</p> <p>当該クレーンについては、点検中のため作業への影響なし。</p> <p>原因は、3月16日に発生した地震による影響と推定。</p> <p>今後、点検中に当該リミットスイッチを交換予定。</p>	G III	5月26日